

令和5年度 事業計画書【簡略版】

令和5年4月 1日から
令和6年3月31日まで

基本方針

新型コロナウイルス感染症の発生から3年が経過し、コロナ禍における強い行動制限に基づく様々な行動指針に沿った社会生活が続き、感染症の収束の目途が付かない状況の中で、国ではウィズコロナの新たな生活に向けて感染法上の位置づけを2類から5類へ移行することを決定しました。

また介護（福祉）を取り巻く環境は、急速な高齢化の進行、少子化による人口減少と労働力不足で社会保障制度が不安定化している上に、国際情勢の悪化に伴う食糧や燃料の価格高騰や円安なども加わり、感染症以外でも厳しさが増えています。

このような状況下で、国を始めとした各行政では、給付と負担の見直しによる社会保障の持続的可能性の確保と、介護予防と健康づくりに向け地域内で共に支え合いながら誰もが住み慣れた自宅や地域で自分らしく安心して暮らし続けられるよう、地域包括ケア体制の構築、高齢者の社会参加・生きがいつくりの推進、在宅医療・介護連携の充実、認知症施策の推進、介護人材の確保、災害・感染症対策の推進などの取り組みを進めています。

来年度に予定されている介護報酬改定では、2025年に向けて構築を図っている地域包括ケアシステムを更に深化・推進するとともに、介護ニーズの増大と労働力の制約への対応を両立させ、制度の持続可能性を確保するという視点に基づき、「地域包括ケアシステムの更なる深化・推進」、「介護人材の確保、介護現場の生産性向上の推進」、「給付と負担」などが盛り込まれてくることが見込まれています。

JA松本ハイランドの組合員の願いを実現する形で創設された私たち社会福祉法人は、協同組合の相互扶助の精神を大きな指針として運営をして参りました。「一人一人が人間らしく暮らすため何をすべきか」、国や行政の方針にも沿いながら、支える側支えられる側という従来の関係を超えて人と人、人と社会がつながり、生きがいや役割を持ち助け合いながら暮らしていくことができ、地域の中で起きる様々な「困りごと」をともに解決することのできる包摂的な地域づくりに向けて、私たちの役割はますます重要となっています。

「第8期高齢者福祉計画」に沿った第6次中期経営計画（R4～6）の2年目となる今年度は、前年度に引き続き「感染症や災害への対応力強化」「地域包括ケアシステムの推進」「自立支援・重度化防止の取組の推進」「介護人材の確保・介護現場の革新」「制度の安定性・持続可能性の確保」に関する実施具体策について取り組むことにより、地域に山積する介護・福祉の課題解決を通じて、地域社会に貢献して参ります。

ウィズコロナの新たな生活にどう対応し、感染症拡大前に築いてきた家族や地域とのつながりを大切にした日常生活をどのように再開していけばいいのか、入居者・利用者の笑顔や満足を得られるよう、全職員の知恵と希望と勇気を結集して引き続き取り組みを進めて参ります。

2025ビジョン

住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができる地域共生社会の実現に貢献する。

基本方針

【利用者】

一人ひとりの尊厳を大切に
し、自立支援に向けた取り
組みの推進

【地域】

地域における様々な福祉課
題・生活課題に地域と連携
した取り組み

【人財】

高度な専門性を持った
多様な福祉人材の
確保・定着・育成

【経営】

信頼性の高い効率的な
事業運営を行う
健全な経営の確立

基本目標

「その人らしく生きる」
自立支援

認知症の支援強化

看取り支援の強化

利用者満足・家族の安心を
得るサービス提供

多様な担い手との連携

公益的な活動

認知症啓発活動

働きやすい職場環境づくり

将来を担う福祉人材育成

福祉人材の確保

法令遵守と
ガバナンス強化

健全な財務規律

技術革新を通じた
労働生産性の改善

情報発信の強化

災害・非常時への
対応強化

長期的視野に立った
事業展開

社会福祉法人松本ハイランド経営理念

1. わたしたちは、地域とともに歩み、支え合い、助け合う地域福祉をめざします。
1. わたしたちは、一人ひとりの尊厳を大切にし、自分らしいくらしの実現に向け支援します。
1. わたしたちは、笑顔と思いやりの心、責任と誇りを持ちより高い目標に向かい、惜しみない努力をします。

令和5年度事業計画(基本目標・実施具体策)

【利用者】

基本目標	法人全体
1.1 利用者が「その人らしく生きる」ための自立支援に取り組めます。	1.1 自立支援の取り組みの強化 (1) 利用者を支えるための職員の資質向上～機能訓練強化対策～ (2) 要支援状態からの自立支援・介護予防・重度化防止対策 (3) 多職種連携による生活支援 (4) LIFEの活用・フレイル予防の取り組み
1.2 認知症の支援(取り組み)を強化します。	1.2 認知症についての教育強化～専門的な取り組みの強化～ (1) 職員の認知症理解促進対策 (2) 認知症に関する職員の資格取得の推進
1.3 看取りの支援を強化します。	1.3 自分らしい最期を迎えるための取り組み強化 (1) 「自分らしい最期」について自己決定を主眼とした学びの場を提供 (2) 看取りの支援に対する職員教育の強化(アドバンスケアプランニングACP含む) (3) リビングウィル(事前指示書)の推進・定着強化 (4) グリーフケア
1.4 利用者の満足・家族の安心を得るサービスの提供に努めます	1.4.1 利用者本位の支援の実現 (1) 個別ケアを重視したケアの提供 (2) 職員が相手の思いを組むことができる感性を醸成するための支援強化～相談援助技術の向上～ (3) 利用者家族との連絡、連携の強化、ヒヤリハット活用による事故防止 1.4.2 利用者の安心・安全の確保を実現 (1) 利用者の満足度調査の実施 (2) リスクマネジメント対策 ・事故防止対策の強化 ・苦情解決、相談体制の確立 ・安全対策体制の確立 (3) 法令順守マニュアルの点検 (4) 感染症対策の強化 (5) 身体拘束・虐待防止対策の強化
1.5 サービスの質の向上に向け取り組みます。	1.5.1 職員の資質向上を図る (1) 質の向上に向けた取り組み～多岐にわたる研修への参加～ (2) 法人内職種間交流の強化～職種間レベルの均一化 1.5.2 サービスの質の向上対策 (1) サービスの自己評価の実施 (2) 第三者評価の受審 (3) サービスの情報公開の適正実施 (4) サービスの質の評価の適正実施

【地域】

基本目標	法人全体
2.1 JAをはじめ様々な福祉ニーズの「担い手」とのつながりを強化します。	2.1 地域包括ケアシステムの多様な担い手との連携 (1) JAをはじめとする地域にある多様な組織(ボランティア、自治会)との連携 ・地域行事、福祉ひろば、公民館活動への参加 ・地域づくりセンター、地区生活支援員、民生委員との連携づくり ・第三者委員・運営委員との情報交換 ・夢あわせの会ゆめの里支部の活動計画作成、実施 ・JA組合員へJA支所だよりを通しての情報提供 ・JA松本ハイランドや今井地域の方々が生産している野菜等を施設の食事で使える仕組み作り ・ボランティア団体との懇親会を実施 ・ボランティアの定期慰問、作業ボランティアの受け入れ ・地域交流事業の開催(夏祭りなど) (2) 行政・地域包括支援センターとの連携強化 ・行政との情報交換の実施(随時) ・地域包括支援センターと連携、情報共有、勉強会参加 ・地域ケア会議参加 ・信州大学、松本大学や、福祉関係の学生との交流促進 (3) 医療機関、他の社会福祉法人、団体等との連携 ・協力医、主治医との連携・情報共有・他法人事業所との意見交換会実施 ・信州大学、松本大学や、福祉関係の学生との交流促進 ・高齢協や経営協の会議等へ参加、情報交換 ・ジェイエー長野会施設(うつくしの里)との情報交換会開催 ・地域包括支援センターの職員より地域課題と私たちの役割について研修を開催 (4) ボランティアの育成 ・ふれあい体験の場づくり ・ボランティア体験希望者の受け入れ ・松本社協のボランティアセンターとの連携 ・地域ボランティアとの交流、意見交換会実施
2.2 地域における公益的な活動に取り組めます。	2.2 公益的な取り組みに向けた地域の多様な主体との連携・協働 (1) 社会福祉法人における社会的役割の認識を深める ・社会福祉法人としての社会的役割についての勉強会実施 (2) 地域課題解決に向けた公益的活動の実施 ・地域課題の把握(地域住民、地域支援員との懇談等) ・法人内事業所、多職種連携による出張デイサービス、介護予防教室等開催(公民館活動実施) ・移動困難者への買い物支援の継続(JAとの協同活動) ・地域住民に役立つ情報発信(リハビリ、認知症、健康増進等) ・オレンジカフェへの参加、地域サロンの立ち上げ支援・定期的な開催 ・保育園・小学校・中学校への啓発活動の実施 ・施設スペースの開放
2.3 認知症についての啓発活動に取り組めます。	2.3 認知症啓発活動の推進 (1) 地域住民等への啓発、地域との連携強化 ・認知症サポーター養成講座開催 ・認知症サポーター養成講座修了者へのフォローアップ研修開催 ・地域住民へ向けた認知症についての研修会開催 (2) 地域に向けた情報誌発行

【人財】

基本目標	法人全体
3.1働きやすい職場環境づくりを推進します。	<p>3.1.1働きがいのある働きやすい職場環境の整備</p> <p>(1)各事業所での職場環境改善の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> 各事業所の状況に応じた職場環境改善に対する取り組みを支援 労働安全衛生教育の取り組み 職場環境改善活動(4S活動、危険の「見える化」)の実施 職員満足度調査や意向調査実施 職場環境改善の好事例の共有化 <p>(2)業務の効率化</p> <ul style="list-style-type: none"> ICT導入と効果の検証 職種、職務別に業務内容の見直し、業務の洗い出し、分担の見直し <p>3.1.2人材の定着に向けた取り組みの強化</p> <p>(1)組織風土づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 各事業所で実施する人材定着に向けた取り組み支援 職員間のコミュニケーション強化 職員交流会の実施(歓送迎会、かたり場) 職場離脱制度(一定期間別の職場へ行く)の検討 <p>(2)福利厚生施策の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> リフレッシュ休暇(有休含む5連休)導入 福利厚生費の有効活用(各事業所裁量で使用できるような) <p>(3)多様な働き方の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 柔軟な雇用制度、勤務体制の検討・導入 <p>(4)職員への継続的なフォローアップ</p> <ul style="list-style-type: none"> 法人内産業保健スタッフによる定期的な職員面談 職員へのキャリア教育・メンター制度の研究
3.2将来を担う福祉人材を育成します。	<p>3.1.3職員の安全と健康の確保</p> <p>(1)メンタルヘルスクアの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 心の健康づくり計画の策定と計画に沿った実施 相談窓口の職員への周知徹底 <p>(2)腰痛予防・病氣予防等健康づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 職場における腰痛予防体操の取り組み・腰痛予防研修の実施 腰痛健康診断の実施・職員の健康管理指導 <p>(3)労働災害防止の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> 労災視点のヒヤリハット報告 KYTトレーニング研修の開催実施
3.3福祉人材の確保に取り組みます。	<p>3.2.1専門的な知識、技術向上の取り組み</p> <p>(1)各事業所での人材育成の取り組み強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 外部研修への参加奨励と研究成果の共有 内部研修の充実 <p>(2)資格取得の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 計画的な資格取得奨励 <p>(3)新人教育制度の再構築</p> <ul style="list-style-type: none"> 採用後3年未満職員に対する定期的な研修 入職後研修の充実 新人教育担当者の育成・法人内の標準化 <p>3.2.2総合的な人材マネジメントシステムの構築</p> <p>(1)人事制度の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> 職務基準、等級制度の定期的な見直し 定期的な評価者研修 <p>(2)体系的な研修プログラムの再構築</p> <ul style="list-style-type: none"> 全職員が経営理念やビジョンを再確認する研修 階層別研修 実践型、ディスカッションできる研修企画実施
3.3福祉人材の確保に取り組みます。	<p>3.3.1戦略的な採用活動の取り組み強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 介護・看護にかかる教育機関への情報発信 職員による出身校への働きかけ・派遣 SNSを利用した採用活動実施 小中高校における福祉教育への積極的な協力 実習生の受け入れを積極的に実施(介護福祉士・社会福祉士・ボランティア・介護支援専門員・在宅看護実習生等) <p>3.3.2法人のブランド力強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 法人の理念の実現に向けた各事業所の特色の取り組みと情報発信 <p>3.3.3多様な人材を確保し活躍してもらえる仕組みづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員の働き方を考慮した配置 多様な人材、多様な働き方を支援する体制づくり 外国人人材確保に向けた研究 障害者の法定雇用率確保と障害者活用研究

【経営】

基本目標	法人全体
4.1 法令遵守(コンプライアンス)の確保とガバナンスの強化に取り組みます。	<p>4.1.1コンプライアンスの徹底・強化</p> <ul style="list-style-type: none"> コンプライアンスチェックの実施・検証によるコンプライアンス体制の確立 内部通報制度の周知 諸規程、マニュアルの見直し・整備 <p>4.1.2ガバナンス(組織統治)の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 機能強化に向けた体制整備 内部統制の確立 第三者委員会、運営推進会議等の機能発揮 会計監査人設置に向けた検討
4.2 健全な財務規律の確立に取り組みます。	<p>4.2.1収支改善に向けた取り組みの強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 定期的な部署別(職種別、形態別)収支改善会議の開催(法人内横断的な収支改善検討会議) 長期的な視野に立った修繕・改修・更新計画の策定 各種助成金の活用 収支改善に向けた奨励制度の検討 外部コンサルタントによる経営指導 管理会計の徹底(各種月別経営分析の実施、財務状況の把握) 予算管理の徹底(月次予算差異分析の実施)
4.3 技術革新を通じた労働生産性の改善に取り組みます。	<p>4.3.1ICT(情報通信技術)システム、AI(人工知能)、ロボット等を活用した介護現場の効率化、業務改善</p> <ul style="list-style-type: none"> 各部署選出のプロジェクトメンバーによるICT等を導入した業務改善の研究(夜勤業務の軽減、介護職の高齢化、利用者の重度化に向けた業務内容の検討など) 導入時のサポート支援体制の強化
4.4 信頼を得るための情報発信の強化に取り組みます。	<p>4.4.1対外広報の取組強化</p> <ul style="list-style-type: none"> JA「支所だより」を通じた福祉・介護情報の発信 SNSなど新たな情報発信ツールの活用による積極的な広報(施設案内、求人などを目的) 双方向で情報交換できる仕組みの検討(主に求人関係) ホームページの適正な運営管理・情報発信 より充実した紙面構成による広報誌「ゆめだより」の発行
4.5 災害・非常時への対応を強化します。	<p>4.5.1災害・非常時への対策・体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> BCPに基づく定期的な訓練(災害・感染症発生等の非常時対応、災害時における自家発電装置の稼働内容点検含む) 災害発生時に向けた法人内連携、他法人との連携策の検討 職員安否確認システムの活用 行政、他法人、地域との災害福祉支援ネットワークづくり
4.6 長期的視野に立った事業展開を検討します。	<p>4.6.1事業の見直しと新規事業の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> 外部コンサルを含めた検討(既存事業、新規事業について) 施設修繕計画の策定 <p>4.6.2ジェイエー長野会との組織のあり方検討</p> <ul style="list-style-type: none"> 人材確保、育成に向けた連携 <p>4.6.3JA福祉事業とのあり方検討</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業統合を視野に入れた研究会開催(R6.2~3目途) 人事交流 <p>4.6.4次期介護報酬改定に向けた検討</p> <ul style="list-style-type: none"> 2024年介護報酬改定対応

令和5年度固定資産取得・修繕計画

単位：千円

年度／事業所	法人本部			特養和田			特養朝日			特養今井			松風園					
	項目	金額	個数	項目	金額	個数	項目	金額	個数	項目	金額	個数	項目	金額	個数			
R5	パソコン	450	3	天井走行リフト	1,300	1	高圧電気機器更新	3,600	1	ユニットケアワゴン	632	1	ナースコールHUB	2,100	7	電気温水器	200	1
	公用車	1,000	1	厨房ガスコンロ	680	1	機械棟修繕	500	1	町会冷蔵庫	328	2	PC	140	1	ノートパソコン	200	1
	ホームページ移管	1,738	1	厨房ローコンロ	160	1	LED化	10,000	1	エアコン	1,720	10				洗濯機	100	1
	コードレス基地局	150	1	厨房消毒保安庫	770	1	駐車場外灯設置	450	1	エアコン室外機	4,800	3						
	FortyGate100F	3,670	1	フィルタクリーニング 車椅子	330	1	ビリーブ(除圧マット)	2,400	1	厨房用冷蔵庫	421	1						
	SKYSEA	2,200	1	ベッド	3,680	15	ボイラー更新	23,000	1	外部スロープ工事	1,287	1						
				加圧給水ユニット入替	1,760	1				車イス用スケール	220	1						
			非常用発電設備修繕	551	1													
合計		9,208					49,181			9,408			2,240				500	

年度／事業所	入山辺			和田デイ			新村宅幼老所			朝日宅老			訪問看護			ヘルパー		
	項目	金額	個数	項目	金額	個数	項目	金額	個数	項目	金額	個数	項目	金額	個数	項目	金額	個数
R5	車椅子	100	1	送迎車(軽)	2,000	1	冷蔵庫	300	1	トイレ増築工事	1,500	1	高圧電気設備更新工事	16	1	公用車購入	1,000	1
	洗濯機	150	1	高圧電気設備更新工事	268	1	複合機	300	1	送迎車両	2,500	1	ボイラー更新	92	1	PC	140	1
				ボイラー更新	1,587	1												
合計		250		3,995		600		4,000		108		1,140						

年度／事業所	和田福祉相談センター			今井福祉相談センター			河西部西包括			太陽光		
	項目	金額	個数	項目	金額	個数	項目	金額	個数	項目	金額	個数
R5	すぐろくケアマネ	572	1	パソコン	360	3				パソコン交換	506	1
合計		572		360		0			506			

総合計
82,068

令和5年度 資金収支予算書（決算推定対比、簡易版）

千円未満端数処理のため合計が合わないことがあります。（単位：千円）

科目		R5 予算合計	R4年 決算推定	R5-推定	R4対比	
事業活動	【事業活動収入計】	1,455,492	1,395,522	59,969	104.3%	
	主支出	【人件費支出】	970,692	965,818	4,874	100.5%
		【事業費支出】	210,049	201,643	8,406	104.2%
		【事務費支出】	205,696	203,806	1,890	100.9%
	【事業活動支出計】	1,388,523	1,373,407	15,116	101.1%	
	【事業活動資金収支差額】	66,969	22,116	44,853	302.8%	
施設整備	【施設整備等収入計】	0	0	0	0.0%	
	【施設整備等支出計】	87,068	30,056	57,012	289.7%	
	【施設整備等資金収支差額】	△ 87,068	△ 30,056	△ 57,012	△ 89.7%	
その他	【その他の活動収入計】	26,725	15,954	10,772	167.5%	
	【その他の活動支出計】	26,725	15,954	10,772	167.5%	
	【その他の活動資金収支差額】	0	0	0	0.0%	
	予備費支出	3,000	0	3,000	0.0%	
	【当期資金収支差額合計】	△ 23,099	△ 7,940	△ 15,159	△ 90.9%	

科目		本部	和田累計	和田特養	和田 ショート	和田デイ	訪問看護	和田福相	新村	松風園	朝日累計	朝日特養	
事業活動	【事業活動収入計】	0	528,937	350,942	10,563	69,944	43,468	54,019	31,590	281,617	195,987	149,522	
	主支出	【人件費支出】	4,264	364,490	220,794	6,776	54,852	36,818	45,251	24,957	130,925	143,800	105,756
		【事業費支出】	0	74,886	60,087	2,370	9,820	1,445	1,164	3,749	65,236	28,744	22,770
		【事務費支出】	614	59,313	45,169	1,923	6,281	2,249	3,692	2,354	66,915	22,927	18,903
	【事業活動支出計】	4,878	499,650	326,950	11,069	71,013	40,512	50,107	31,060	263,076	195,470	147,429	
	【事業活動資金収支差額】	△ 4,878	29,287	23,992	△ 506	△ 1,069	2,956	3,912	530	18,541	517	2,093	
施設整備	【施設整備等収入計】	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	【施設整備等支出計】	9,208	53,855	49,181	0	3,995	108	572	600	500	13,408	9,408	
	【施設整備等資金収支差額】	△ 9,208	△ 53,855	△ 49,181	0	△ 3,995	△ 108	△ 572	△ 600	△ 500	△ 13,408	△ 9,408	
その他	【その他の活動収入計】	14,086	10,000	10,000	0	0	0	0	0	0	0	0	
	【その他の活動支出計】	0	5,014	3,014	70	859	479	592	479	2,282	2,043	1,423	
	【その他の活動資金収支差額】	14,086	4,986	6,986	△ 70	△ 859	△ 479	△ 592	△ 479	△ 2,282	△ 2,043	△ 1,423	
	予備費支出	0	1,000	1,000	0	0	0	0	0	0	1,000	1,000	
	【当期資金収支差額合計】	0	△ 20,583	△ 19,203	△ 576	△ 5,922	2,370	2,748	△ 549	15,759	△ 15,935	△ 9,738	

科目		朝日 ショート	朝日宅老所	ヘルパー	入山辺	今井累計	今井特養	今井 ショート	今井福相	河西部西 地域包括	朝日太陽光	
事業活動	【事業活動収入計】	9,729	36,736	89,628	91,767	198,897	153,662	21,068	24,167	35,256	1,813	
	主支出	【人件費支出】	7,973	30,071	58,919	71,021	149,204	109,759	17,843	21,602	23,111	0
		【事業費支出】	1,807	4,166	1,475	10,770	24,525	20,487	3,585	453	643	21
		【事務費支出】	1,244	2,780	7,273	6,957	25,529	20,998	2,907	1,623	13,748	66
	【事業活動支出計】	11,024	37,017	67,717	88,748	200,335	152,321	24,335	23,678	37,501	87	
	【事業活動資金収支差額】	△ 1,296	△ 281	21,911	3,019	△ 1,438	1,341	△ 3,267	488	△ 2,245	1,726	
施設整備	【施設整備等収入計】	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	【施設整備等支出計】	0	4,000	1,140	250	7,600	7,240	0	360	0	506	
	【施設整備等資金収支差額】	0	△ 4,000	△ 1,140	△ 250	△ 7,600	△ 7,240	0	△ 360	0	△ 506	
その他	【その他の活動収入計】	0	0	0	0	0	0	0	0	2,639	0	
	【その他の活動支出計】	113	507	3,555	5,958	7,000	6,451	225	324	394	0	
	【その他の活動資金収支差額】	△ 113	△ 507	△ 3,555	△ 5,958	△ 7,000	△ 6,451	△ 225	△ 324	2,245	0	
	予備費支出	0	0	0	0	1,000	1,000	0	0	0	0	
	【当期資金収支差額合計】	△ 1,409	△ 4,788	17,215	△ 3,189	△ 17,038	△ 13,350	△ 3,492	△ 196	0	1,220	